

次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業
学術機関リポジトリ構築連携支援事業
平成 20-21 年度委託事業（領域 1）提案書

平成 20 年 1 月

国立情報学研究所

様式 1

次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業
学術機関リポジトリ構築連携支援事業
平成 20-21 年度委託事業（領域 1）提案書

平成 20 年 月 日

学術コンテンツ運営・連携本部 御中

（名 称）

（申請者）

印

別紙のとおり、次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業 学術機関リポジトリ構築連携
支援事業 平成 20-21 年度委託事業（領域 1）を提案いたします。

様式 2. 申請機関・事業概要・リポジトリ概要

1. 申請機関

機 関 名	
-------	--

所 在 地	
代 表 者	職名： 氏名：
責 任 者	☐ 業務責任者 職名： 氏名： TEL： FAX： E-mail：
	☐ 事務責任者 職名： 氏名： TEL： FAX： E-mail：
	☐ 記入者 職名： 氏名： TEL： FAX： E-mail：

2. 事業概要

事業の目的
・ 本事業で達成する目標，成果を箇条書きで記述してください。

年次計画：平成 20 年度
・ 実施する事業内容を分かり易く説明してください。事業内容と「様式 3. 必要経費」との関係性を，本委託事業申請額と自己調達資金を区別し，分かり易く説明してください。 ・ 特にレコード作成単価の妥当性について分かり易く説明してください。 ・ コンテンツ構築の力点があれば，明記してください。

年次計画：平成 20 年度（続き）

自己調達資金（予定）：平成 20 年度

- ・ 自己資金調達予定があれば記述してください。金額を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 学内予算：
- ・ 外部資金：

年次計画：平成 21 年度

自己調達資金（予定）：平成 21 年度

- ・ 自己資金調達予定があれば記述してください。金額を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 学内予算：
- ・ 外部資金：

3. 事業終了後の運用計画（平成 22 年度以降）.

- ・ 本事業終了後の持続的かつ自立的な機関リポジトリ運用計画を具体的に記述してください。
- ・ 特に経費や人員をどのように維持するかについての展望と，継続的なコンテンツ収集策の見通しについて記述してください。
- ・ 教員DBとの関係や方針などについて記述してください。

4. 実施体制

(1) 実務体制（事業開始時）

業務内容	係名等	FTE※
コンテンツ		
システム		
広報		
その他（ ）		

※ FTE : full time equivalent の略。専従換算(FTE 換算)値。

(2) 教員との連携

有 ・ 無
・ 有の場合、連携活動の内容をできるだけ詳細に記述してください。

(3) 機関全体の実施体制を、図を用いて説明してください。（システム運用体制含む）

・ システム運用体制は機関内教職員、外部委託等の分担を明確に記述してください。

5. 機関リポジトリ

名 称	
公開 URL	(予定)
BaseURL	(予定)
試験公開日	年 月 日 (予定)
一般公開日	年 月 日 (予定)
NII からのハーベスト開始	年 月 日 (予定)

※ 既に公開・ハーベスト開始済みの場合は公開日・ハーベスト開始日を記入してください。

(1) システム概要

・システムの構成および機関内外のシステムとの連携について図示してください。

(2) 運用準備状況

- ・次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業委託事業受託経験（該当するものに○印をつけてください。）

平成 17 年度	平成 18 年度 (領域 1)	平成 18 年度 (領域 2)	平成 19 年度 (領域 1)	平成 19 年度 (領域 2)

- ・機関リポジトリの運営に必要な設備・ソフトウェアの導入状況

導入済 ・ 未導入

- ・これまでの機関リポジトリ構築，運用に関する準備状況を記述してください。
- ・機関内での機関リポジトリに関するワーキンググループの設置や会議の開催状況，機関内外での広報活動等について記述してください。
- ・DRF 参加状況（ex. 参加機関である，メーリングリストのみ参加）や学術ポータル担当者研修応募・受講状況（ex. H19 年度応募，H19 年度受講）も記述してください。

様式3. 必要経費

(1) 総経費

	運営費(千円)	設備費(千円)	人件費(千円)	合 計(千円)
平成20年度				0
平成21年度				0
(平成20年度自己調達資金)				0
(平成21年度自己調達資金)				0
合 計(自己調達資金込)	0	0	0	0

(2) 運営費

運営費の明細 (金額単位: 千円)

年度	品 名・仕 様 (数量×単価) (設置機関)	金 額	学内予算等 自己調達資金
20			
	合 計	0	0
21			
	合 計	0	0

(3) 設備費

設備費の明細（金額単位：千円）

年度	品 名・仕 様 (数量×単価) (設置機関)	金 額	学内予算等 自己調達資金
20			
	合 計	0	0
21			
	合 計	0	0

(4) 人件費

人件費の明細（金額単位：千円）

年度	品 名・仕 様 (数量×単価) (設置機関)	金 額	学内予算等 自己調達資金
20	研究職員		
	事務職員		
	人件費付帯経費		
	合 計		0
21	研究職員		
	事務職員		
	人件費付帯経費		
	合 計		0

様式4. コンテンツ構築数

1. コンテンツ構築対象

機関リポジトリに収録されるメタデータ（書誌データ等の2次情報）の数とメタデータからリンクされるコンテンツ本体の数を記入してください。
 コンテンツ本体は、機関リポジトリに収録されたもの、もしくは自機関内の組織が責任を持って運用する他のサーバに収録されたものに限り
 ます。
 また時間的及び地域的制約を加えずに無条件に公開するメタデータ及びコンテンツ本体の数のみ記入してください。
 科学研究費等、外部資金による報告書は、研究報告書の欄に記入してください。
 分類にないコンテンツについては、その他の欄に記入してください。

(1) 平成20年度

ボーンデジタル	出版段階から電子化されている学術資料を機関リポジトリに搭載することを言います。
印刷物の電子化（逡及入力）	紙媒体で出版されてきた学術資料をスキャン等の手段によって電子化して機関リポジトリコンテンツとすることを言います。
既存システムからの移行	電子図書館等既存システムに登録されていた学術資料を機関リポジトリに搭載することを言います。 (CiNiiからダウンロードし、機関リポジトリに登録したコンテンツも既存システムからの移行分となります。)
H20機関内生産数	平成20年度に機関内で生産される知的生産物（論文等）の数（見込み）を言います。
H20捕捉率（%）	平成20年度の機関リポジトリ収録予定数（見込み） / 平成20年度の機関内生産数（見込み） * 100
1レコードあたりの作成単価	平成20年度のコンテンツ作成費用（見込み） / 平成20年度の機関リポジトリ収録予定数（見込み）

は必須記入項目です。

委託事業対象収録数

分 類	ボーンデジタル		印刷物の電子化 (逡及入力)		既存システム からの移行		計		H20機関内 生産数	H20捕捉率 (%)	1レコード あたりの 作成単価
	本文	メタ	本文	メタ	本文	メタ	本文	メタ			
学術雑誌論文（海外）							0	0			
学術雑誌論文（国内）							0	0			
学位論文							0	0			
研究成果報告書							0	0			
紀要論文							0	0			
会議発表論文							0	0			
会議発表用資料							0	0			
図書・図書の章							0	0			
テクニカルレポート、 ワーキングペーパー							0	0			
一般雑誌記事							0	0			
プレプリント							0	0			
教材							0	0			
データ・データベース							0	0			
ソフトウェア							0	0			
その他（ ）							0	0			
合 計							0	0			

委託事業対象外収録数

広報資料							0	0			
貴重資料							0	0			
学位論文要旨							0	0			
その他メタデータのみのデータ ()							0	0			
合 計							0	0			

備考欄：

- ・コンテンツ作成上、力点を置いていること
- ・コンテンツ作成単価の考え方
- ・コンテンツ種別に関する特記事項 などを簡潔に記入してください（様式2の事業概要の「年次計画」にも記入欄があります）

(2) 平成21年度

ボーンデジタル	出版段階から電子化されている学術資料を機関リポジトリに搭載することを言います。
印刷物の電子化（逡及入力）	紙媒体で出版されてきた学術資料をスキャン等の手段によって電子化して機関リポジトリコンテンツとすることを言います。
既存システムからの移行	電子図書館等既存システムに登録されていた学術資料を機関リポジトリに搭載することを言います。 (CiNiiからダウンロードし、機関リポジトリに登録したコンテンツも既存システムからの移行分となります。)
H21機関内生産数	平成21年度に機関内で生産される知的生産物（論文等）の数（見込み）を言います。
H21捕捉率（%）	平成21年度の機関リポジトリ収録予定数（見込み） / 平成21年度の機関内生産数（見込み） * 100
1レコードあたりの作成単価	平成21年度のコンテンツ作成費用（見込み） / 平成21年度の機関リポジトリ収録予定数（見込み）

は必須記入項目です。

委託事業対象収録数

分 類	ボーンデジタル		印刷物の電子化 （逡及入力）		既存システム からの移行		計		H21機関内 生産数	H21捕捉率 （%）	1レコード あたりの 作成単価
	本文	メタ	本文	メタ	本文	メタ	本文	メタ			
学術雑誌論文（海外）							0	0			
学術雑誌論文（国内）							0	0			
学位論文							0	0			
研究成果報告書							0	0			
紀要論文							0	0			
会議発表論文							0	0			
会議発表用資料							0	0			
図書・図書の章							0	0			
テクニカルレポート、 ワーキングペーパー							0	0			
一般雑誌記事							0	0			
ブレプリント							0	0			
教材							0	0			
データ・データベース							0	0			
ソフトウェア							0	0			
その他（ ）							0	0			
合 計							0	0			

委託事業対象外収録数

広報資料							0	0			
貴重資料							0	0			
学位論文要旨							0	0			
その他メタデータのみのデータ （ ）							0	0			
合 計							0	0			

備考欄：

- ・ コンテンツ作成上、力点を置いていること
- ・ コンテンツ作成単価の考え方
- ・ コンテンツ種別に関する特記事項 などを簡潔に記入してください（様式2の事業概要の「年次計画」にも記入欄があります）

(3) 既存のコンテンツ

※既に機関リポジトリを運営している機関のみ記入してください。

 は必須記入項目です。

収録数

分 類	計	
	本文	メタ
学術雑誌論文（海外）	0	0
学術雑誌論文（国内）	0	0
学位論文	0	0
研究成果報告書	0	0
紀要論文	0	0
会議発表論文	0	0
会議発表用資料	0	0
図書・図書の章	0	0
テクニカルレポート、 ワーキングペーパー	0	0
一般雑誌記事	0	0
プレプリント	0	0
教材	0	0
データ・データベース	0	0
ソフトウェア	0	0
その他（ ）	0	0
合 計	0	0
広報資料	0	0
貴重資料	0	0
学位論文要旨	0	0
その他メタデータのみのデータ （ ）	0	0
合 計	0	0

備考欄：

- ・コンテンツ作成上、力点を置いていること
- ・コンテンツ種別に関する特記事項 などがあれば簡潔に記入してください。